

社会資本整備審議会建築分科会 第6回官公庁施設部会 議事要旨

1. 日 時 平成17年2月25日(金) 14時～15時

2. 場 所 中央合同庁舎第3号館11階共用会議室

3. 出席者 〔委員〕

岡田恒男部会長、村上周三部会長代理、坂本雄三委員、巽和夫委員、
野村歡委員、古阪秀三委員、伊藤弘委員、松縄堅委員

〔国土交通省〕

奥田官庁営繕部長、野村大臣官房審議官、青木管理課長、藤田計画課長、
寺本整備課長、野村設備・環境課長、鬼沢保全指導室長他

4. 議事内容

(1) 資料説明(「官公庁施設のストックの有効活用のための施策の推進について」)

(2) 委員からの主な発言内容

- エネルギーの効率的利用及び省エネルギー対策として保全業務支援システム(以下、BIMMS-N)には大変期待している。
- 地方自治体への普及により、官公庁施設全体への普及を図ってほしい。
- 保全についての報告により、データが集まるが、集まったデータをうまく運用する体制を整えなければならない。
- BIMMS-Nは、大変有意義なことと思う。データベースの相互乗り入れに関して、全ての管理項目を共有化することは難しいので、管理項目を重点化し、数項目に絞ることで、非常に有意義な運用が可能になるのではないか。
- 京都議定書が発効したこともあり、BIMMS-Nを使ってどのような省エネルギー対策を具体的に進めていくかということが重要。
- 民間の建築物にどのように普及させていくかということが重要であり、国がリーダーシップをとって、成果を一般の方に広く周知していくような活動を展開するべきである。